

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																						
麻生外語観光&製菓専門 門学校		平成3年1月8日	瀧口 博俊		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 092-415-2293																						
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																						
学校法人麻生塾		昭和26年3月12日	理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999																						
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																					
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ウェディング科			平成28年文部科学省 告示第19号	-																					
学科の目的	ブライダル業界に必要な専門知識、資格、技能に加え、将来、業界人としてプロ意識をもち幅広く活躍できるマインドを備えた人材を育成する																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2	昼間	1720	632	1125	295	0	0																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
80人		41人	0人	2人	11人	13人																					
学期制度	■前期: 4月1日～8月31日 ■後期: 9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各期毎5段階にて評価 担当教員が定期試験、出席等の状況をもとに評価																						
長期休み	■夏季: 8月 6日～9月11日 ■冬季: 12月24日～1月10日 ■春季: 1月 31日～3月 31日			卒業・進級 条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任および学科教員との個別ガイダンスの実施。 学科責任者との面談、三者面談の実施。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有																						
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) ホテル、ブライダル、アパレル業界など ■就職指導内容 希望する業界(企業)と個々の適正を見定め、指導、助言を与える。 ■卒業生数 37 人 ■就職希望者数 37 人 ■就職者数 37 人 ■就職率 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 100.0 % ■その他 (令和 3 年度卒業生に関する 令和4年4月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年4月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パーソナルカリスト検定3級</td> <td>③</td> <td>37</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカリスト検定2級</td> <td>③</td> <td>10</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ブライダルコーディネート技能検定3級</td> <td>②</td> <td>37</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③の いずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得する もの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	パーソナルカリスト検定3級	③	37	36	パーソナルカリスト検定2級	③	10	4	ブライダルコーディネート技能検定3級	②	37	35				
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
パーソナルカリスト検定3級	③	37	36																								
パーソナルカリスト検定2級	③	10	4																								
ブライダルコーディネート技能検定3級	②	37	35																								
中途退学 の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 令和3年5月1日時点において、在学者62名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者62名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による要因を抱えた学生に対する個別面談。学生の情報を教員間で共有しながらの検討会の実施。学科責任者や保護者を含めての面談。ガイダンス記録による報告。																										
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 東日本大震災により被災した進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科の ホームページ URL	<a href="https://asoju.ac.jp/aftc/bridal/">https://asoju.ac.jp/aftc/bridal/</a>																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により、実践的かつ専門的な職業教育を実践することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生を対象とする「お客様アンケート」結果による企業視点を軸とし、航空業界、空港での地上支援業務において必要とされる知識・技術の修得を目指す。実践の機会として設定するインターンシップでは、職業像と必要適性を明確にし、各自の具体的なキャリアプランを構築するための取り組みとする。また実務を経験し、適切な指導・評価を受けることで学内での学習との相乗効果を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専攻分野における市場動向や地域産業振興の方向性等に関する意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とし、教育課程編成委員会を設置する。尚、委員会では、次に掲げる事項を審議する。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

カリキュラム会議では、教育課程編成委員会の審議内容を基に、授業科目の改善や新規開設、授業内容や授業方法の改善を検討する。これにより専攻分野で必要とされる知識・技能の修得を可能とする質の高い教育の提供を目指す。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
小野 聡之	九州BMC常任相談役兼副会長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	①
三上結樹乃	株式会社ディアーズブレイン 人材開発部	令和4年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
浦川実子	麻生外語観光&製菓専門学校 校長代行補佐	令和4年4月1日～令和4年3月31日(1年)	
中村 直輝	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウェディング科 リーダー	令和4年4月1日～令和4年3月31日(1年)	
東まゆみ	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウェディング科 教員	令和4年4月1日～令和4年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年6月16日(水) 16:00～16:40

第2回 令和3年10月13日(水) 15:30～16:10

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

コロナ禍でブライダル業界は、少人数結婚式やフォトウエディングの増加など新しい演出や手法を取り入れることになるので、最新のブライダル業界の情報交換しながら、今年度より新たに専攻分けを行った専攻別授業や現在のカリキュラムについて意見をいただき、有益であるとの意見をいただいた。また取得検定に関しても現場での活用などブライダル業界での重要性についても意見をもらい、カリキュラムに反映させる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術および技能を教授し、就職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。その内容については、将来ブライダル業界において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。具体的には、実践の機会であるブライダル実習を設定し、職業像と職業適性を認識させることで、学生自らが具体的なキャリアプランを構築することを可能にする。また、実務を経験し、指導・評価を受けることにより学内での学習との相乗効果を図る。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

授業科目の担当教員と連携している企業とで、事前に実習内容を協議し詳細に決定するとともに、学生の学修成果の評価指導についても事前に定める。ブライダル業界において必要な知識や技術を修得できるよう、式場や衣裳店などで実際に接客をし、修得の進捗は学生が専用の実習ノートに記録する。実習成果は、この記録にて確認する。実習先企業の実習担当者が学生の評価票を作成し、担当教員がその評価票を基に最終評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ホテル・ブライダル実習(7W)	企業連携により実施する。200時間のブライダル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また、各ホテル及びブライダルの現場を通して、最新のトレンドとブライダルマーケットの現状を学ぶ	ホテル雅叙園東京、 明治記念館、パレスホテル
ブライダル実習(2W)	企業連携により実施する40時間のブライダル実習を通してブライダルの現場にの仕事内容を理解し、必要とされる知識・技能を取得する。	(株)テイクアンドギヴ・ニーズ アルカディア 高見(株) (株)エスクリ (株)ノバレーゼ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

教職員に対して、現在就いている職務又は将来就くことが予想される、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「 パーソナルカリスト検定の指導法 」(連携企業等： 日本カリスト協会 )  
 期間：令和4年2月16日(水) 18日(金) 対象：中村直輝 東まゆみ  
 内容：パーソナルカリスト検定の指導法及び授業の進め方

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 LGBT研修 」(連携企業等： カラフルチェンジラボ )  
 期間：令和3年8月26日(木) 対象：中村直輝 東まゆみ  
 内容：LGBTに関する教務研修

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「 せとうちDMO×HOTERESセミナー 」(連携企業等： (株)瀬戸内ブランドコーポレーション )  
 期間：令和4年6月23日(木) 対象：東まゆみ  
 内容：ホテルや旅館の運営やマネジメントに関しての研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 ブライダルプランナー検定講師セミナー 」(連携企業等： 全米ブライダルコンサルタント協会 )  
 期間：令和4年11月15日(火) 対象：中村直輝  
 内容：ブライダルプランナー検定2級の指導に関しての研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5) 学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6) 教育環境	教育設備・教員の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11) 国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

昨年に続き新型コロナウイルス拡大で予定していた企業インターンシップができなかったが、学生には実習に代わる実践的な学びを提供できる代替案の検討が必要であるとのご意見を踏まえ、検定対策授業科目を実施や、学内ウエディングフェアの企画及び運営、コロナ禍による業界の変化を現役のスタッフにオンラインにて講話して頂くなど、現場での実務経験ができなかった部分の補填のひとつとした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
荒木 幸枝	エアライン科 在校生 保護者	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	PTA
堀部 豊和	平成22年度 卒業生	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	地域住民
前田 直子	福岡県立嘉穂東高等学校 校長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	高校関係者
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	企業等委員
今林 麻美	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課 マネージャー	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	企業等委員
鈴木 毅剛	ANA福岡空港株式会社 貨物・グランドサービス部 アシスタントマネージャー	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	企業等委員
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aftc/2021/hyoka.pdf>

公表時期: 令和4年5月18日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方、5つの特徴
(2) 各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報
(3) 教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6) 学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7) 学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育、海外での大学教育
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

<https://asojuku.ac.jp/aftc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和3年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		ホテル概論	ホテルのしくみを知り、ホテルの中でのブライダルについて学ぶ	1前	32	2	○			○		○		
2	○		ウエディングセレモニー論A	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1前	30	2	○			○		○		
3	○		ウエディングセレモニー論B	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1後	30	2	○			○		○		
4	○		レストラン実務	レストラン部門のサービスについて実践形式で学ぶ。	1前	32	2		○		○		○		
5	○		ブライダル衣裳I	ドレスコーディネーターとして必要な知識を習得する	1前	15	1		○		○			○	
6	○		宴会実務	宴会部門のサービスについて実践形式で学ぶ。	1後	30	2		○		○		○		
7	○		ブライダルフラワーIA	ブライダルの現場に必要な基本の花の取り扱い方、花の流通を習得する	1前	15	1		○		○		○		
8	○		ブライダルフラワーIB	ブライダルの現場に必要なブーケ、装花の知識を習得する	1後	15	1		○		○		○		
9	○		ブライダル接遇演習I	ブライダルスタッフとして必要な接客技能の基本を身につける	1後	15	1		○		○			○	
10	○		カラーコーディネート演習A	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1前	15	1	○			○			○	
11	○		カラーコーディネート演習B	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1後	15	1	○			○			○	
12	○		ブライダルメイクA	ブライダル業界で働く上で必要な基本メイクを学ぶ	1前	15	1		○		○			○	

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和3年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
13	○			ブライダルメイクB	ブライダルの簡単なヘアメイクがお客様にできるようになる技術を養う	1後	15	1		○		○				○
14	○			メイク検定対策	セルフメイクによる基礎から仕上げまでを身に付ける	1前	30	2		○		○		○		
15	○			ブライダル産業演習 I A	ブライダル施設の知識を深め、専門式場やチャペル見学によりブライダル業界についての知識を深める	1前	15	1		○			○	○	○	
16	○			ブライダル産業演習 I B	現場担当者の講話及びセミナーを実施し、ブライダル業界の視野を広げる	1後	15	1		○			○	○		
17	○			ブライダルネイル	ネイルの基礎を学び、ブライダルにおけるネイルの基本も学ぶ	1後	15	1		○		○		○		
18	○			サービス接客 I A	サービス接客検定を前提に、接客の基本動作、言葉遣いを習得する	1前	30	2		○		○		○		
19	○			サービス接客 I B	サービス接客検定を前提に、接客の基本動作、言葉遣いを習得する	1後	30	2		○		○		○		
20	○			文章表現 I	文章検定 4 級を目指し、国語力を身に付ける	1後	30	2	○			○				○
21	○			S P I I	就職試験筆記対策として学ぶ	1後	30	2	○			○				○
22	○			Word	ビジネス文書作成法を学び、Word検定3級の取得を目指す	1後	30	2		○		○				○
23	○			PowerPoint	お客様への提案や、チラシ、資料などを作成する力をつける	1後	30	2		○		○				○
24	○			ペン字	社会人として日常業務に必要なペン字の基礎的な知識、技能の修得を目指す	1後	15	1		○		○				○
25	○			社会教養 I A	ブライダル実習の準備、学生紹介シートの作成する	1前	15	1		○		○		○		

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和3年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
26	○			社会教養 I B	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	1後	15	1		○		○	○			
27	○			G C B I	感謝心と思いやりの教育	1前	15	1	○			○	○			
28	○			就職指導	就職活動に向けての心構えや試験対策などを実施	1後	30	2	○			○	○			
29	○			ホテル・ブライダル実習	ホテル及びブライダル企業で実習することにより知識と実践力を養う	1前	200	5			○	○		○	○	
30	○			ブライダル実習	ブライダル企業で実習することにより知識と実践力を養う	1後	40	1			○	○		○	○	
31	○			一般教養 I A	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1前	15	1	○			○			○	
32	○			一般教養 I B	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1後	15	1	○			○			○	
33			○	業界インターンシップ	ブライダル業界で仕事をするにより、現場に早く慣れ、知識を見つけることができる	1後	40	1			○	○			○	
34	○			国家試験対策	ブライダルコーディネート技能検定取得を目指す	2後	45	3	○			○			○	
35	○			パーソナルカラーA	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラリスト検定3級の取得を目指す	2前	60	4	○			○			○	
36	○			パーソナルカラーB	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラリスト検定2級の取得を目指す	2後	30	2	○			○			○	
37	○			ウエディングプラン演習	オリジナルウエディングの企画・演出能力を養う	2前	30	2	○			○			○	
38	○			ブライダル産業演習 II	式場の違いを学び、現場のスタッフより仕事を学ぶ	2前	15				○	○			○	



(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和3年度																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	39	○		ブライダル コーディネー ト演習(プラン ナー)	模擬結婚式に向けて、プランナー関連業 務・音響照明・MC業務を学ぶ。	2 前	96	6		○		○		○		
	40	○		ブライダル コーディネー ト演習(ドレ ス・フラワー)	模擬結婚式に向けて、ドレスコーディネー ター業務・ブライダルメイク・フラワ ーコーディネーター業務を学ぶ。	2 前	96	6		○		○		○		
	41	○		レストラン サービス技能 検定対策A	HRS検定の取得を目指し、筆記・実技の対策 授業を行う。	2 前	96	6		○		○		○		
	42	○		プランナー検 定対策(プラン ナー)	国内外のブライダルに関する知識を学び、 ブライダルプランナー検定2級取得を目指す	2 後	30	2	○			○		○		
	43	○		レストラン サービス技能 検定対策B	HRS検定の取得を目指し、筆記・実技の対策 授業を行う。	2 後	30	2		○		○		○		
	44	○		ブライダル衣 装Ⅱ(ドレ ス・フラ ワー)	ドレスやタキシード、和装についての知識 を深めドレススタイリスト検定取得を目指 す	2 後	30	2	○			○				○
	45	○		和装着付け演 習	和装を自分にも相手にも着付ができる力を 養う	2 前	30	2		○		○				○
	46	○		イベントプラ ンニング	企画案をイベントとして実行できる力を養 う	2 前	30	2		○		○		○		
	47	○		ブライダル マーケティング	ブライダル市場の状況や、経営について学 ぶ	2 後	30	2	○			○				○
	48	○		ブライダル フォト演習	ブライダル業界で必要な映像技法を学ぶ	2 後	15	1		○		○				○
	49	○		海外ウエディ ング概論	日本の海外ウエディングの歴史を学ぶと共 に、現在の海外ウエディング事情を学ぶ	2 後	15	1	○			○				○
	50	○		ブライダル接 遇演習Ⅱ	ブライダルの各場面の現場での接客のやり 方を学ぶ	2 後	30	2		○		○		○		
	51	○		模擬結婚式	模擬結婚式の企画・準備・運営を各専攻に 分かれて進めていく	2 後	90	6		○		○	○	○		

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和3年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
52	○			テーブルコーディネート演習	結婚式用のテーブルコーディネート・空間コーディネートについて実践を通して学ぶ	2前	30	2		○		○		○		
53	○			マナープロトコール	冠婚葬祭及び国際プロトコールについての知識を身につける	2前	30	2	○			○				○
54	○			S P I I I	就職試験に備えて筆記対策をする	2前	30	2	○			○				○
55	○			文章表現Ⅱ	文章検定3級を目指し、文章の構成作り方を学び就職試験に活かす	2前	30	2	○			○				○
56	○			Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定3級の取得を目指す	2前	30	2		○		○				○
57	○			イラストレーターフォトショップ	ブライダル商品の販売・広報用ツールとしての画像処理方法や活用方法を学ぶ	2後	30	2		○		○				○
58	○			手話	結婚式場の現場で案内、誘導ができるレベルを目指して学ぶ	2後	30	2		○		○				○
59	○			社会教養ⅡA	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	2前	30	2		○		○				○
60	○			社会教養ⅡB	社会人になるにあたって、必要な知識を身につける	2後	30	2		○		○	○	○		
61	○			GCBⅡ	「志」の大切さについて学び、学生各人の目標設定をおこなう。	2前	15	1	○			○				○
62			○	海外ウエディング研修	海外ウエディングの現場を視察し、実務を見学することにより、職業観を深める	2後	40	1		○		○	○			
合計						62科目		2052単位時間(122単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週